

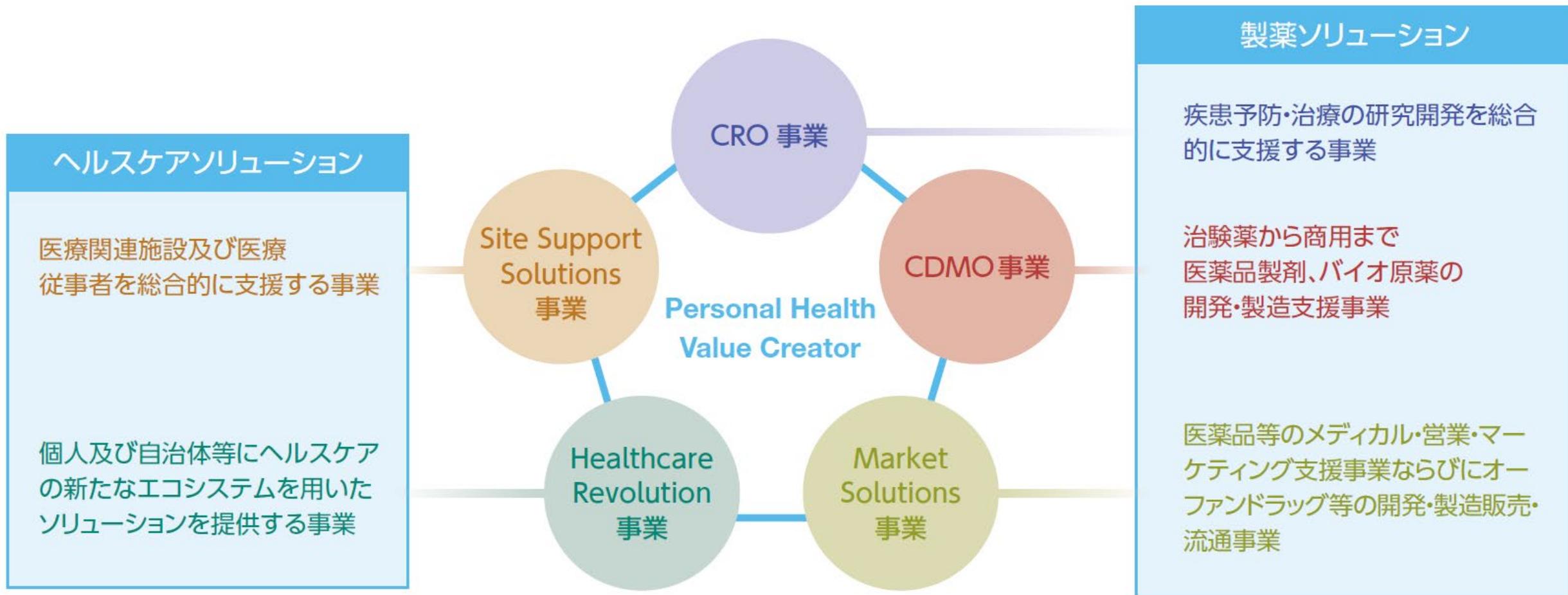


2023年9月期 第1四半期 決算概要

(2022年10月1日～2022年12月31日)

シミックホールディングス株式会社
2023年1月31日

グループ事業内容

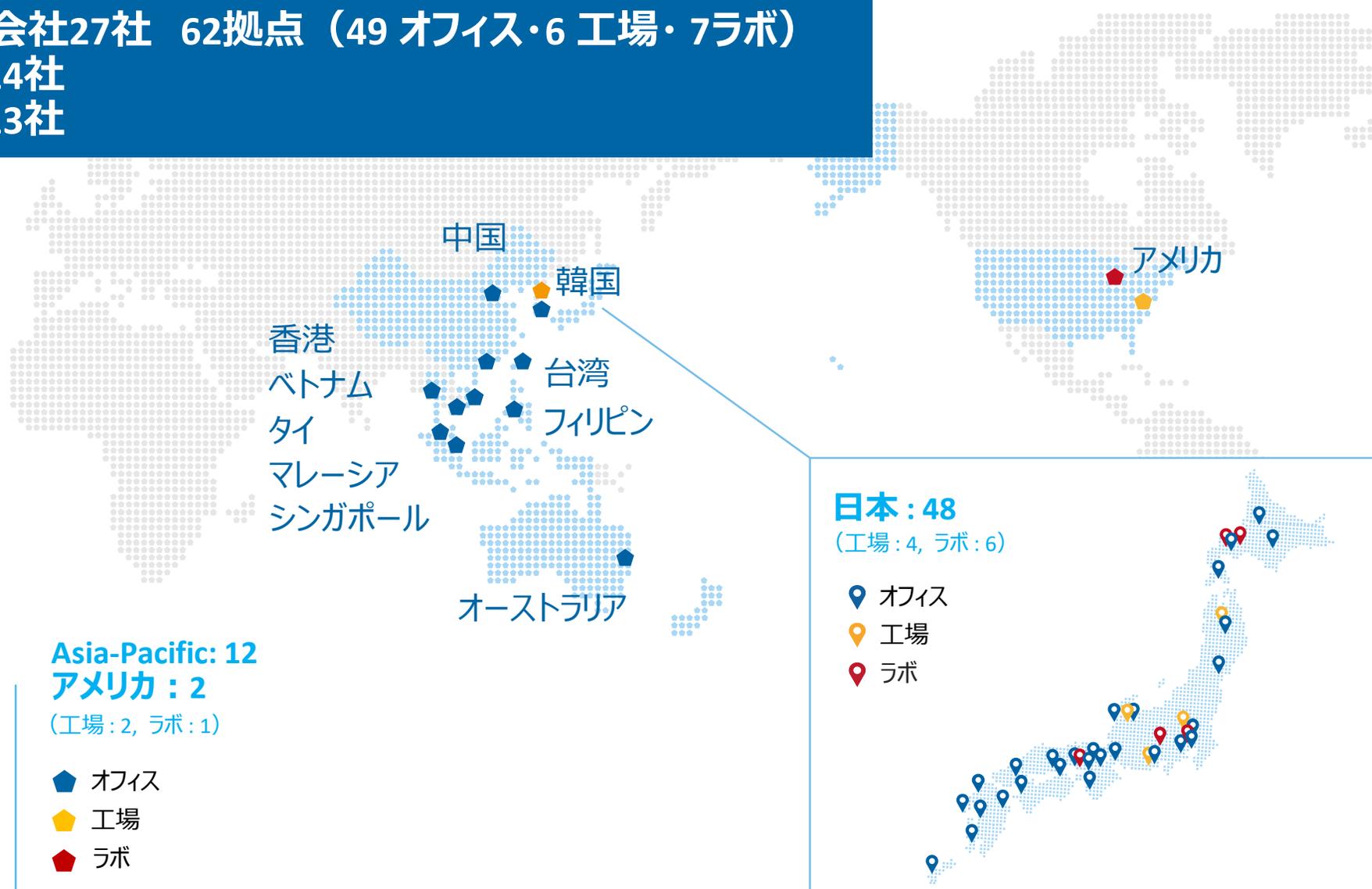


グループ拠点展開



グループ会社27社 62拠点 (49 オフィス・6 工場・7ラボ)

国内 14社
海外 13社





ヘルスケアビジネスの進展

疾患予防・治療の研究開発から販売まで
総合的な支援の強化

社会的有益性の高い事業を通じた
サステナブルな社会への貢献



harmo:



CMIC Healthcare Professional



ヘルスケアビジネスの進展



✓ 自治体支援業務の拡大

感染の予防から感染後のフォローアップまで、コロナウイルス感染症対策を総合的に支援

- ワクチン接種、PCR検査、陽性者フォローアップほか支援業務が拡大
 - コールセンター（副反応相談対応）、人的支援（医師・看護師紹介、運営スタッフ）
 - 新型コロナワクチン接種情報管理システム「harmoワクチンケア」の活用
 - 抗原検査・抗体検査キット販売

✓ 個人の健康価値向上を目指したデジタルプラットフォームの強化

ノックオンザドア株式会社との資本業務提携

- 希少疾病を中心に、患者・家族向け支援プラットフォームを軸にした事業を展開
- harmo[®]との連携により、医療機関・医療従事者との連携を深化
- 希少疾病領域における患者、ご家族のサポート、臨床試験での活用等、既存事業とのシナジーを創出

プライマリからスペシャリティまで、個々に寄り添うヘルスケアプラットフォームの実現

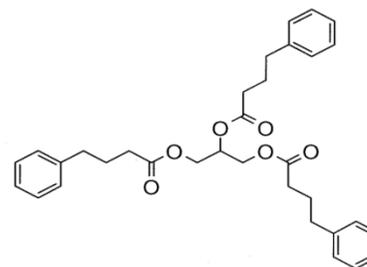




疾患予防・治療の研究開発から販売まで 総合的な支援の強化

- 海外バイオベンチャーの日本進出や異業種からのヘルスケア領域参入支援の強化
-Consulting and Navigation Unitの新設-
(顧客の戦略やニーズに合わせて必要な機能の提供や業務の受託を行う組織)
- 尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名 Ravicti®）の
日本における開発開始

※**尿素サイクル異常症（Urea Cycle Disorders: UCD）**
肝臓の尿素サイクルの酵素が先天的に欠損することにより、
アンモニアが代謝できず、高アンモニア血症を来す。



社会的有益性の高い事業を通じた サステナブルな社会への貢献

- ▶ 「国際児童絵画コンクール」が「メセナアワード2022」優秀賞受賞
- ▶ 第14回「国際児童絵画コンクール」の共催、
第19回「日本エイズ学会 学会賞（シミック賞）」の授与
- ▶ 障がい者アスリート支援



連結損益計算書（要約）



	FY2022 Q1		FY2023 Q1		増減額 (百万円)	増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)		
売上高	24,629	100.0	29,677	100.0	+5,048	+20.5
営業利益	3,375	13.7	4,270	14.4	+894	+26.5
経常利益	3,462	14.1	3,401	11.5	△60	△1.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,107	8.6	1,950	6.6	△156	△7.4
1株当たり 四半期純利益	116円48銭		111円73銭			

【ウクライナ情勢の影響について】当第1四半期連結累計期間において当社グループに直接的に大きな影響はありません。

営業外損益・特別損益・税金費用・非支配株主損益の内訳



(百万円)

	FY2022 Q1	FY2023 Q1		FY2022 Q1	FY2023 Q1
営業外収益内訳	137	32	特別損失内訳	23	25
受取利息	0	1	固定資産除却損	23	13
為替差益	109	—	投資有価証券評価損	—	11
助成金収入	6	11			
その他	20	19	法人税等	1,330	1,516
			非支配株主に帰属する当期純損益	1	△91
営業外費用内訳	50	901			
支払利息	37	42			
為替差損	—	816			
持分法による投資損失	—	15			
その他	12	27			

報告セグメント別売上高および営業利益



		FY2022 Q1 (百万円)	FY2023 Q1 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
製薬ソリューション	売上高	17,723	20,494	+2,770	+15.6
	営業利益	1,306	1,722	+416	+31.8
ヘルスケアソリューション	売上高	7,069	9,646	+2,577	+36.5
	営業利益	2,395	2,945	+550	+23.0
調整額	売上高	△163	△463	△300	-
	営業利益	△326	△398	△71	-
合計	売上高	24,629	29,677	+5,048	+20.5
	営業利益	3,375	4,270	+894	+26.5

* 調整額

売上高は、報告セグメント間取引の内部消去であります。

営業利益は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であり、当社（持株会社）に係る費用であります。

受注高・受注残高



	FY2022 Q1		FY2023 Q1			
	受注高	受注残高	受注高	増減率	受注残高	増減率
	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)
製薬ソリューション	20,637	72,046	20,514	△0.6	76,239	+5.8
ヘルスケアソリューション	4,994	14,661	13,945	+179.2	20,592	+40.5
合計	25,632	86,707	34,460	+34.4	96,832	+11.7

売上構成比



FY2022 Q1

ヘルスケアソリューション

28.5%

売上高

24,629百万円

製薬ソリューション

71.5%

営業利益 3,375百万円

営業利益率 13.7%

FY2023 Q1

ヘルスケアソリューション

32.0%

売上高

29,677百万円

製薬ソリューション

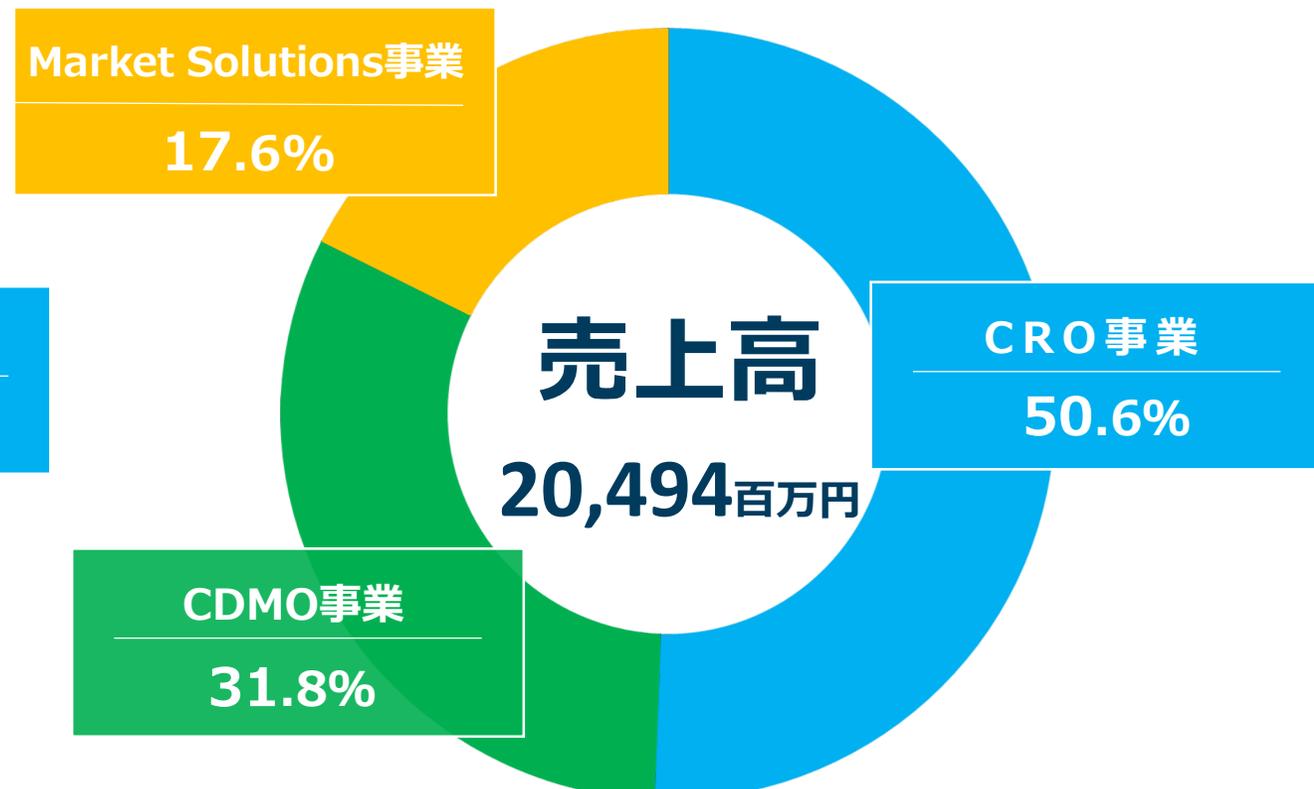
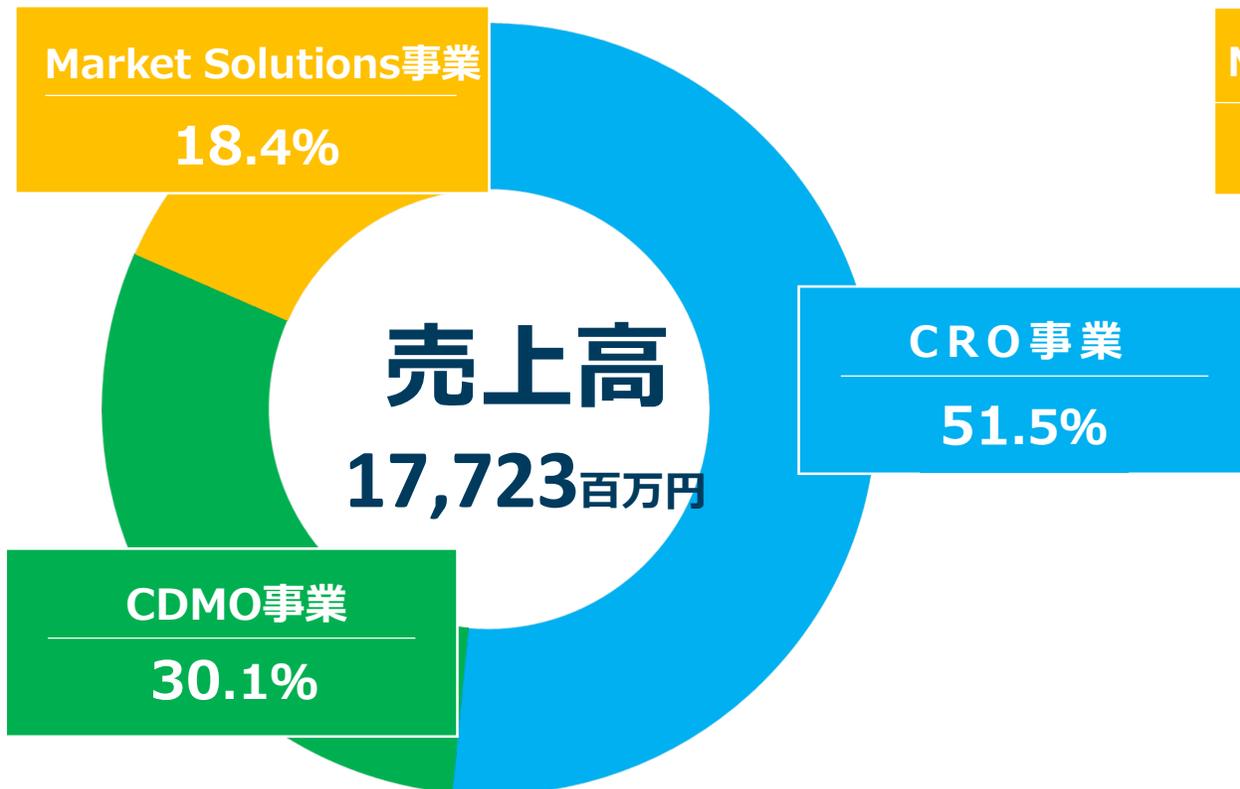
68.0%

営業利益 4,270百万円

営業利益率 14.4%

FY2022 Q1

FY2023 Q1



営業利益 1,306百万円

営業利益率 7.4%

営業利益 1,722百万円

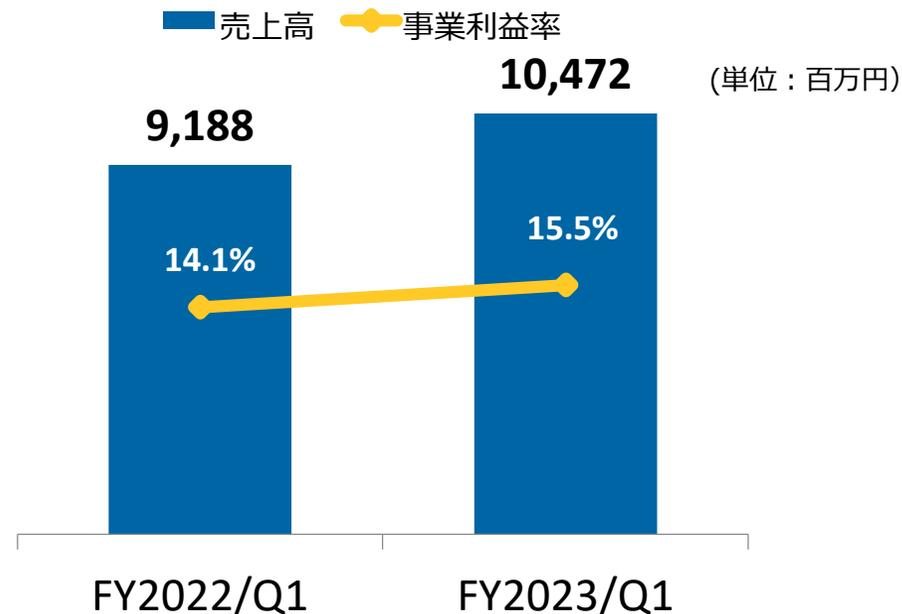
営業利益率 8.4%

事業セグメント — CRO事業 —

疾患予防・治療の研究開発を総合的に支援する事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 開発案件の引き合いが増加
- DCT（遠隔診療、訪問看護、ePRO、ウェアブルデバイス等）の促進
- 海外バイオベンチャーの日本進出や異業種からのヘルスケア領域参入支援の強化
- バイオアナリシス業務において、次世代バイオ医薬品や遺伝子治療薬、バイオマーカーなど、モダリティの多様化が進む
先端領域の創薬支援



重点取組事項

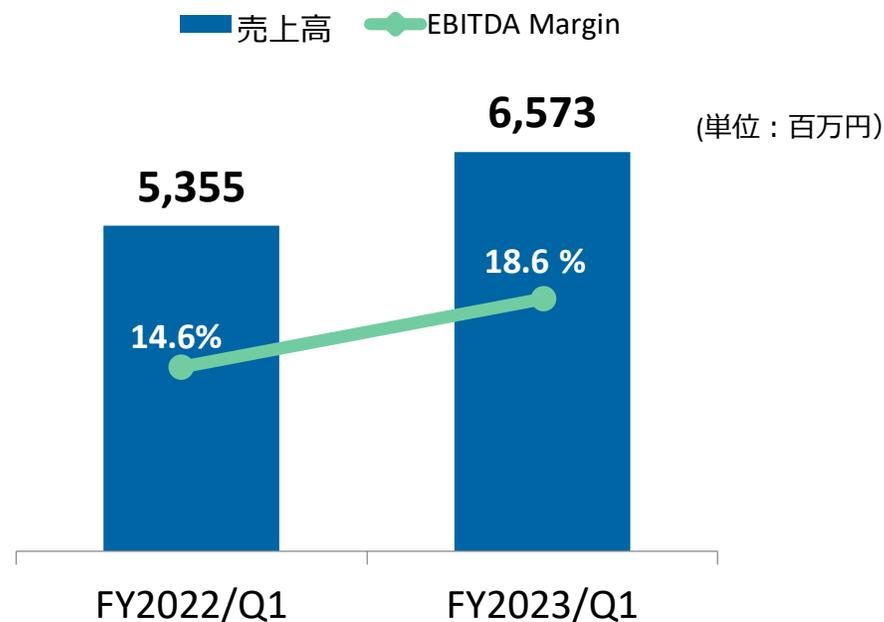
- バイオ・再生医療等の先端領域の開発支援強化
(アカデミア・BVから承認申請をフルサポート)
- DCTやRWDなどデジタル活用
- 日米ラボ連携による核酸医薬の積極的受託
- 多国間試験の積極的受託
(アジア共同治験、日米バイオ測定ビジネス)
- US、アジアビジネス展開
- 国内市場におけるNo.1シェア目標

事業セグメント – CDMO事業 –

治験薬から商用まで医薬品製剤ならびにバイオ原薬の開発・製造支援事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- 新型コロナウイルス感染症拡大やジェネリック品質問題の影響に対し、安定供給の確保に向けたニーズが拡大
- 製造におけるエネルギー、原料、包装資材などの価格が上昇、納期の長期化などの供給不足リスクに対応
- 米国の業績回復遅れ、新規案件獲得に注力



重点取組事項

- 足利注射剤棟生産の確実な実施と収益貢献
- 製剤技術のライセンス事業の本格展開
(マイクロニードル他)
- US新サイトでの業務拡大
- 国内製薬企業の戦略的パートナーとしての位置づけ強化

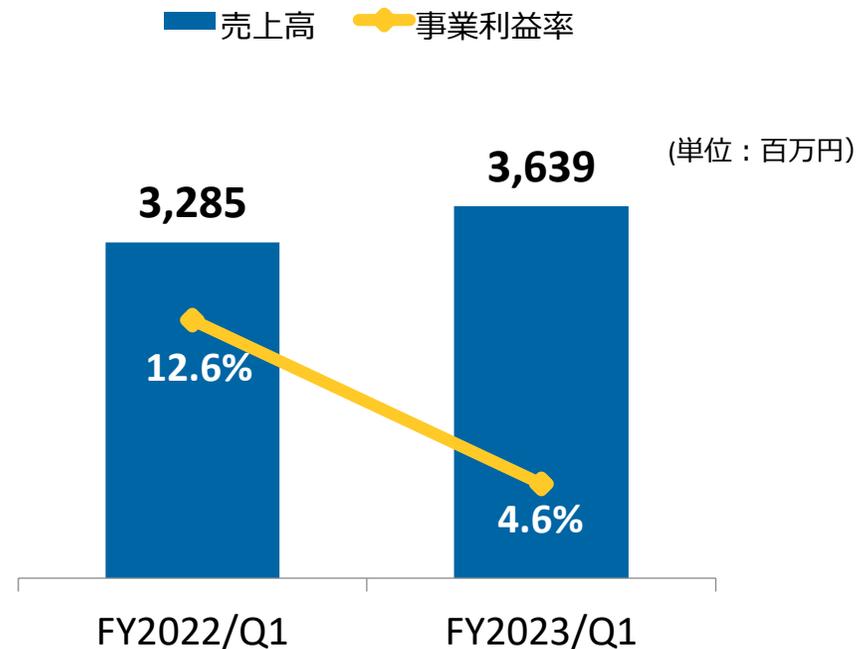
※ 事業利益率 (マイナス)

3.6%

医薬品等のメディカル・営業・マーケティング支援事業ならびにオーファンドラッグ等の開発・製造販売・流通事業

事業概況

- 売上高は前年同期を上回る
- MR派遣業務の引き合いが順調
- 尿素サイクル異常症治療薬グリセロールフェニル酪酸（海外販売名 Ravicti®）の日本における開発開始とこれに伴う研究開発費の増加



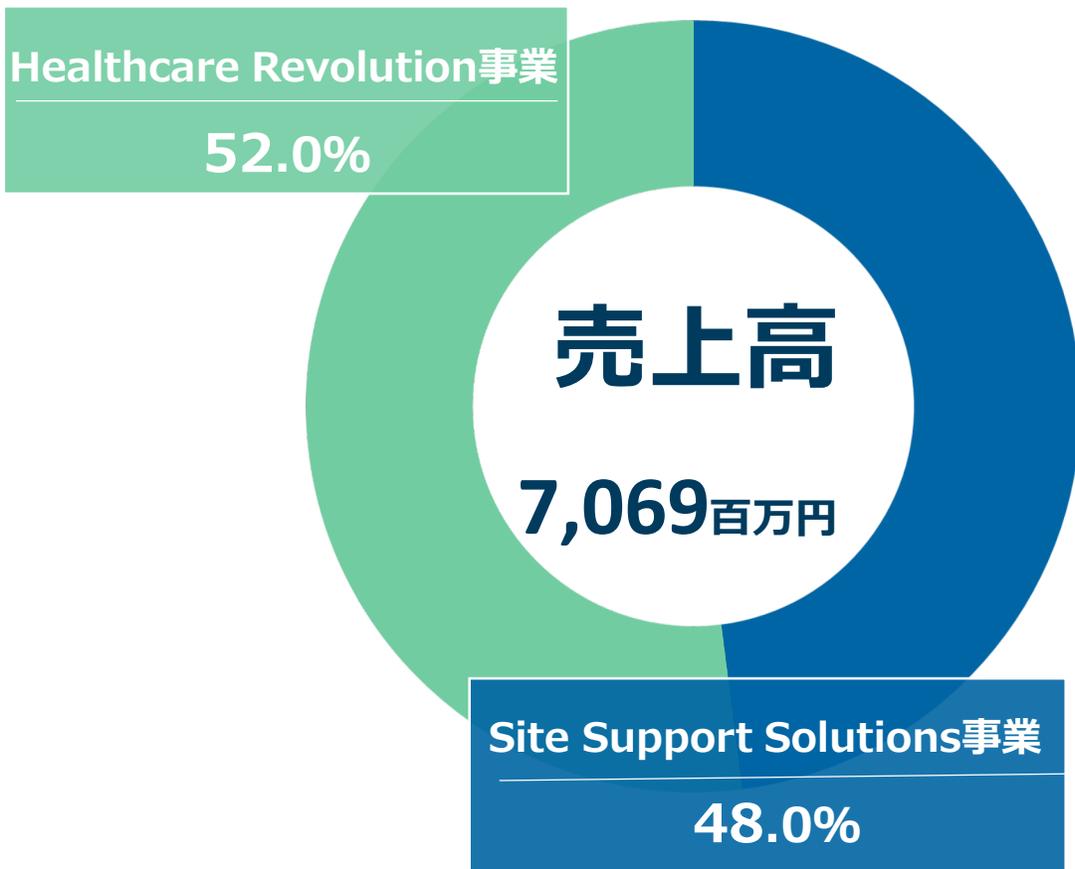
重点取組事項

- MR派遣ビジネスでのポジショニング拡大
- MR、MSLの効率的採用
- ハイブリッドサービスの提供
- マルチチャネルの促進
- 新規オーファンドラッグの開発
- 海外製薬企業の日本市場進出支援

ヘルスケアソリューション 売上構成比

ヘルスケア
ソリューション

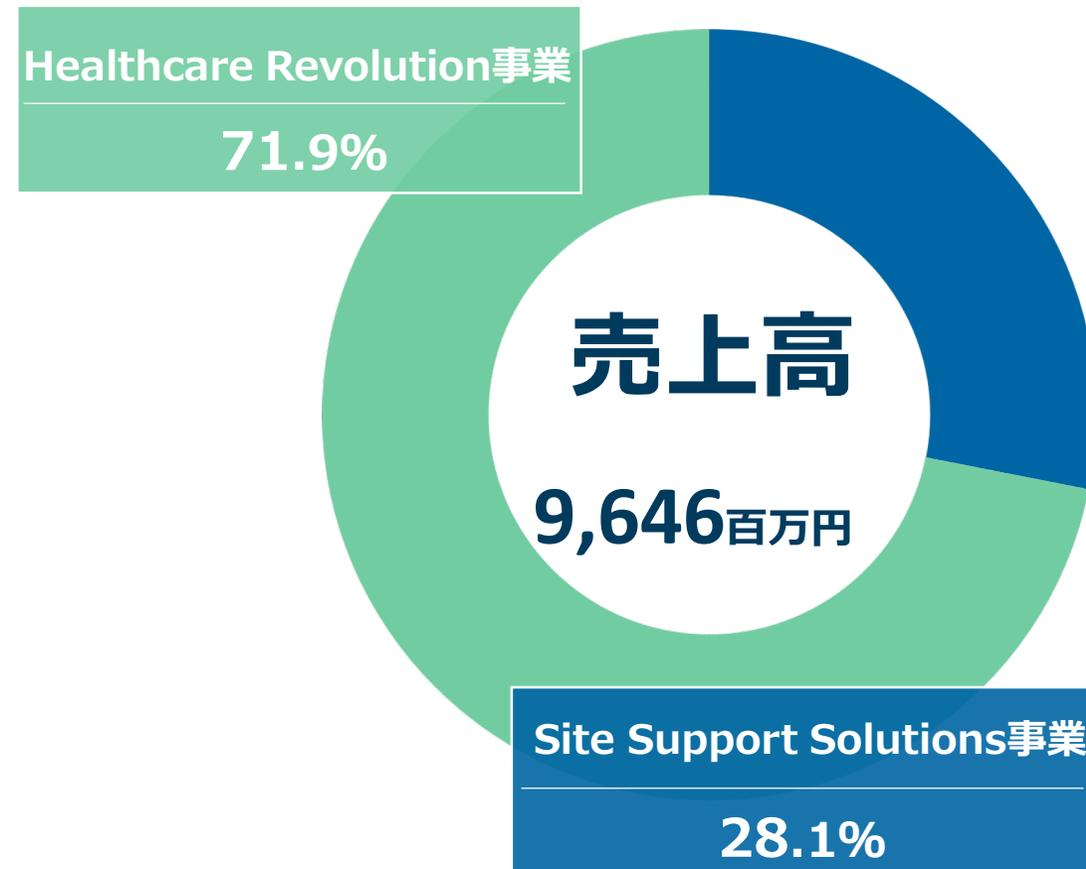
FY2022 Q1



営業利益 2,395百万円

営業利益率 33.9%

FY2023 Q1



営業利益 2,945百万円

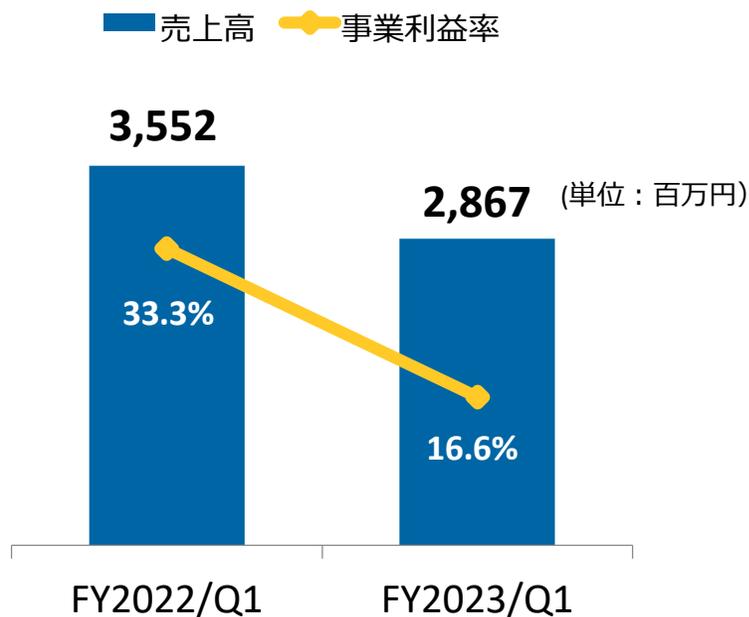
営業利益率 30.5%

事業セグメント – Site Support Solutions事業 –

医療関連施設及び医療従事者を総合的に支援する事業

事業概況

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン及び治療薬等開発案件の減少により、売上高は前年同期を下回る
- 足元は臨床試験案件が増加し、受注高が伸長
- 臨床試験（研究）をはじめとする医療機関向け支援ニーズも拡大
- アカデミアとの連携を促進



重点取組事項

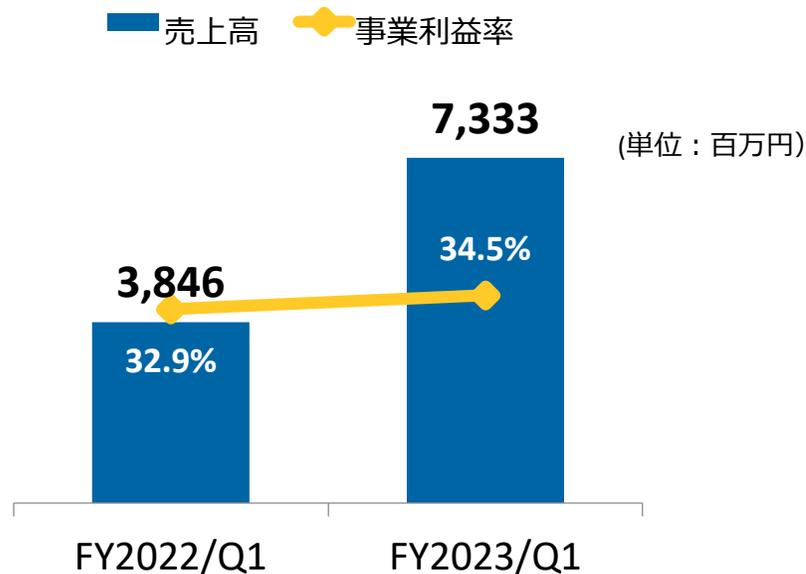
- 治療から予防・予後マーケットへの展開
(予防治療薬やアプリ治験)
- 大学病院ネットワーク等への支援
- 地域医療におけるサービス提供

事業セグメント – Healthcare Revolution事業 –

個人及び自治体等にヘルスケアの新たなエコシステムを用いたソリューションを提供する事業

事業概況

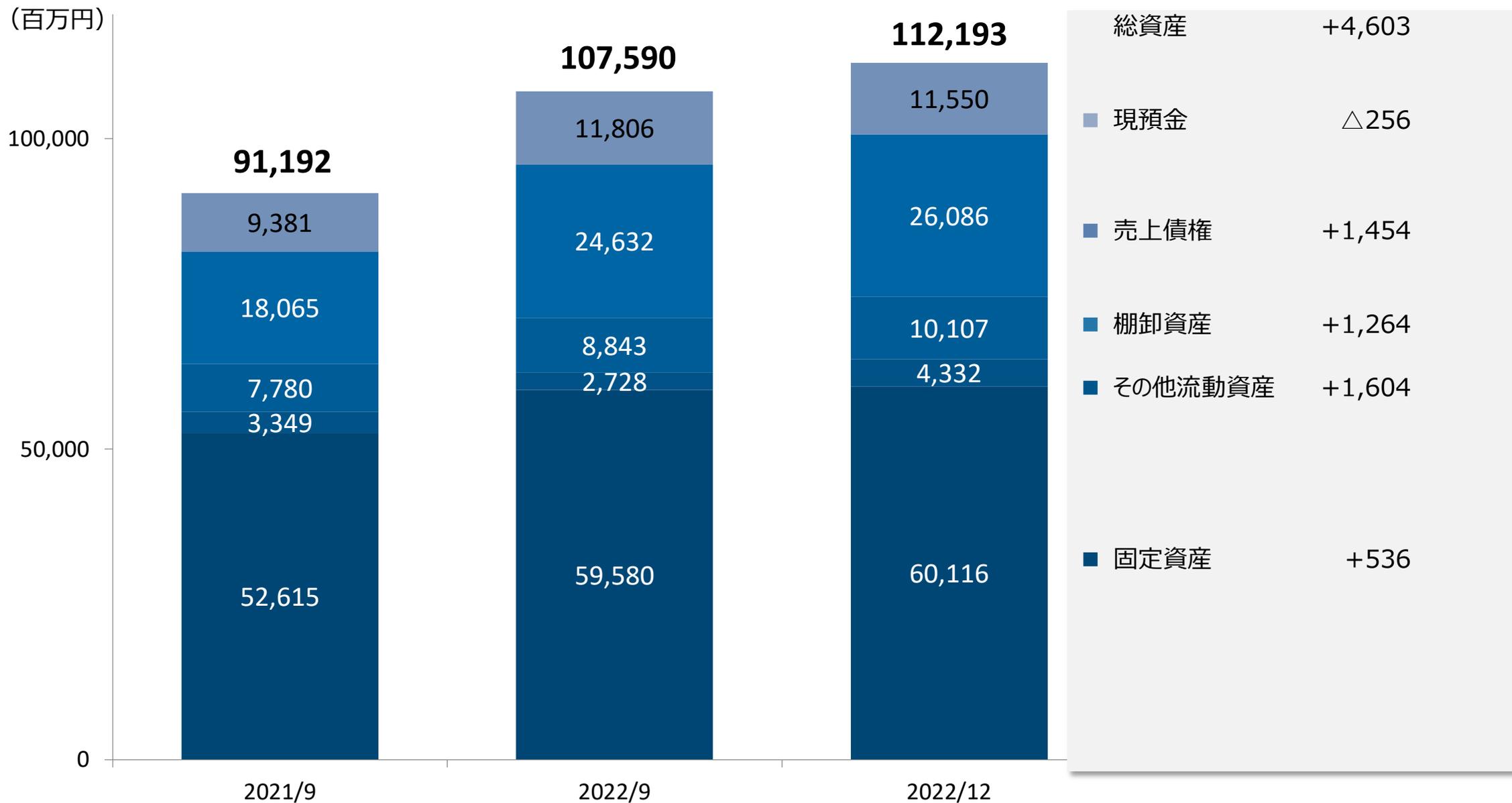
- 売上高は前年同期を大幅に上回る
- 新型コロナウイルス感染症関連の支援業務が拡大
- 疾病予防・健康情報やIT技術を融合したビジネスの拡大に取り組む
-希少疾病を中心に患者・家族向け支援プラットフォームを軸にした事業を行うノックオンザドア(株)を子会社化



重点取組事項

- harmo®を使ったヘルスケアサービス拡大とデータ利活用
- 自治体、企業向けヘルスケアサービスの拡充
- セルフチェックサービスの展開
- ヘルスケア人財の育成、確保

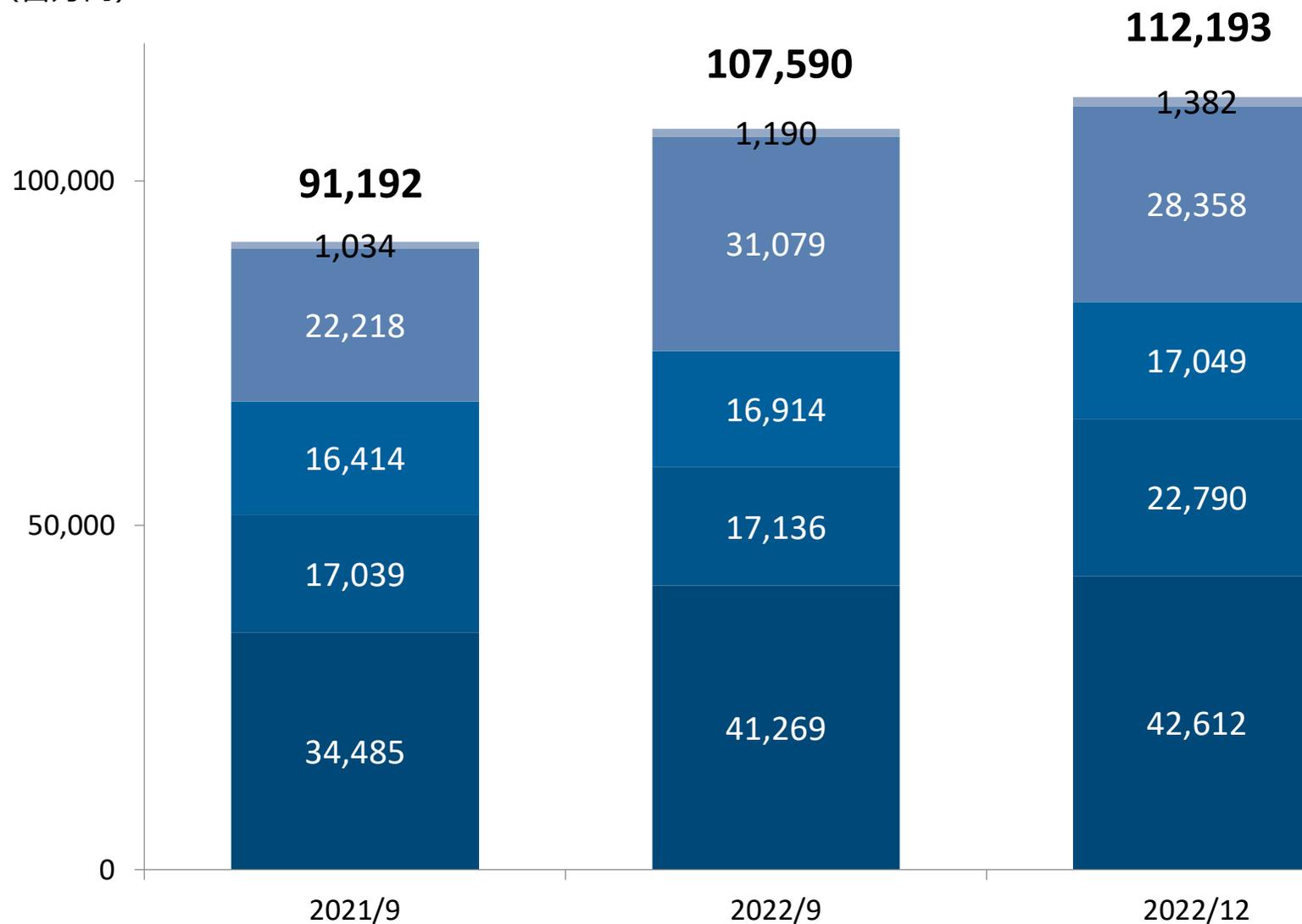
連結貸借対照表（資産の部）



連結貸借対照表（負債の部・純資産の部）



(百万円)



仕入債務	+192
その他流動負債	△2,721
その他固定負債	+135
有利子負債 (リース債務を除く)	+5,653
純資産	+1,343



本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

